

白庭台防災だより(2022年8月号)

白庭台自主防災会
2022.8.1

「白庭台地区防災計画」は、白庭台で想定される災害と被害を明らかにし、その予防と災害時の対応を定めたものです。

地区防災計画は、一般的な防災ではなく、白庭台に応じた防災対応です。

今月も、駅前マンションの大地震の対応について2回目の説明をします。

先月は、ローレルスクエアは、2000年6月の新・新耐震基準を満たしていますので、南海トラフ地震や生駒断層地震が発生した場合でも避難所利用ではなく、在宅避難になる可能性が大なので、水、食料、トイレ、光熱について説明をしました。

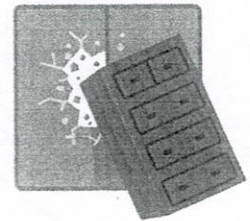


今月は、大地震が発生した場合の対応と予防について説明をします。

つぎの表を見てください。

阪神淡路大震災の家具転倒率と負傷率(中央防災会資料)

	家具転倒率	負傷率	重傷者率
上層階	60%強	25%	4%
中層階	約40%	17%	1%
下層階	約20%	7%	0%



阪神淡路大震災ですので震度7と思われませんが、上層階の家具転倒率、負傷率が高く、下層階は被害は少ないです。

したがって、安否確認は、下層階の方が上層階を受け持つというルールを設けることで、効果的に負傷者を救出できます。戸建ての安否確認は、班単位ですがマンションは、下層階が上層階を受け持ち、中層階は、同じ階の人で行うのがベターです。

また、密閉性が高く、救出が難しいマンションこそ安否確認タオルの掲出を徹底し、要安否確認者を絞りこむ必要があります。

つぎに地震に事前対策ですが、家具の固定、食器棚の食器の転落防止、ガラスの飛散防止(特に、上層階)を行うことで、負傷者を大幅に減らすことが可能です。

ただし、ガラスの飛散防止のフィルム施行はマンション規約で行えない場合がありますので事前確認が必要です。

白庭台地区防災計画説明動画(約20分)

◎ユーチューブで視聴

<http://youtu.be/M5WfjuWV2A>

◎白庭台自治会ホームページで視聴

<http://shiraniwadai.jp/>

※白庭台自治会の文字検索も可

